

***REPS***-不動産物件検索 CGI

**【管理・カスタマイズ マニュアル】**

---

## 目次

1	初めに.....	3
1.1	REPS とは.....	3
1.2	対象.....	3
1.3	概要.....	3
2	管理画面の各機能.....	4
2.1	管理画面へのアクセス.....	4
2.2	管理画面で出来る事.....	4
3	一般検索画面の各機能.....	6
3.1	一般検索画面へのアクセス.....	6
3.2	一般検索の流れ.....	7
3.3	検索.....	8
3.4	一覧.....	8
3.5	詳細表示.....	8
3.6	問い合わせ.....	8
4	バックアップ・リストア.....	8
4.1	バックアップとは.....	8
4.2	リストアとは.....	9
5	インポート・エクスポート.....	10
5.1	インポートとは.....	10
5.2	エクスポートとは.....	10
5.3	データ定義.....	10
6	その他の機能.....	13
6.1	携帯・モバイル機器での閲覧・検索に対応.....	13
6.2	Atom (XML) フィードによる更新情報の配信.....	13
7	一般検索画面のカスタマイズ.....	14
7.1	テンプレートとは.....	14
7.2	カスタマイズ手順.....	16
7.3	変更するファイル.....	17
	テンプレートファイルとその説明一覧.....	20

## 1 初めに...

### 1.1 REPS とは

REPS は Web アプリケーションです。ホームページ上で動作するソフトウェアで、不動産物件情報の管理と公開を目的として開発されました。

主な機能は、不動産物件情報の登録、管理、検索、公開です。このマニュアルでは、これらの機能の紹介、及びその他の管理機能の解説をいたします。

カスタマイズを行なう場合もこのマニュアルの内容をひと通り目を通していただくと、作業もスムーズに行くと思います。

### 1.2 対象

このマニュアルでは、既に REPS の設置と動作確認が済んだ段階でお読みいただくものです。運用の管理者または担当の方及びカスタマイズを行なう方を想定しております。

### 1.3 概要

まずは REPS の基本的概念をご説明いたします。

#### 管理画面と一般検索画面

管理画面とは、ユーザー ID とパスワードを用いてログインし、認証されたユーザーだけが、操作できる画面です。通常、物件情報を登録したりする方が利用します。

一般検索画面は、ホームページ訪問者が物件を検索して、問い合わせをしたりする画面です。

これらは、はっきりと区別されています。

#### 管理ユーザーと一般ユーザー

管理ユーザーとは、REPS をインストールした際に作られる特別のユーザーで、運営の管理をする担当の方が用います。この管理ユーザーは、通常の機能だけでなく、管理機能を変更出来る唯一のユーザーです。

管理ユーザー以外のユーザーはすべて一般ユーザーで、通常の実作をするユーザーです。

一般ユーザーと管理ユーザーが出来る操作は下記の通りです：

- ・ 物件情報の登録、変更、削除
- ・ 自分のユーザー情報の変更

管理ユーザーだけが出来る操作は下記の通りです：

- ・ ユーザーの追加、削除
- ・ 会社情報の登録、変更
- ・ ユーザーの一覧と各ユーザー登録物件の一覧
- ・ バックアップ・リストア、エクスポート・インポート

\*これらの機能は後で解説いたします。

## 2 管理画面の各機能

### 2.1 管理画面へのアクセス

管理画面へのアクセスは、CGI 設置&初期化時と同様です。

もしトップページが <http://www.example.com/> とし、REPS 本体を、app というディレクトリ (<http://www.example.com/app/>) にインストールした場合。

管理画面は、

<http://www.example.com/app/reps.cgi>

となります。

初期化時に作った管理ユーザー名とパスワード、または作成したユーザー名とパスワードでログインします。

### 2.2 管理画面で出来る事

管理画面で出来る事は、大きく分けて「物件情報の管理」、「ユーザー情報（会社情報）の設定」、「システム管理機能」の三つがあります。

メイン画面には、統計情報として、登録済みの物件数と公開中の物件数、及び、一般向けの物件詳細ページの閲覧回数（注）と問い合わせメール送信回数（それぞれ上位5件）が表示されます。

これらの統計情報により、どの物件がもっとも人気があったか、人気つまり、訪問者の興味が実際に問い合わせに結びついているかどうかなど、マーケティングまたは検索条件や賃料設定をする際の等の判断材料となることを期待しています。

（注）管理画面にログインした状態で一般向けの物件詳細ページを閲覧すると、統計情報にはカウントされません。

### 物件情報の管理

管理画面では、

- ・ 賃貸：住居用
- ・ 賃貸：事業用
- ・ 売買：土地
- ・ 売買：マンション
- ・ 売買：一戸建て
- ・ 売買：投資用

の種類の物件情報を取り扱います。それぞれに対して、「追加」、「編集」、「削除」の操作を行う事ができます。また、それぞれ物件の「一覧表示」と「条件検索」の機能もあります。

物件の追加：

物件を追加する際は、項目名の背景が、■この色の項目の入力が必須で、それ以外の項目の入力は任意です。しかし、一般検索画面で検索される際、ホームページの訪問者が入力する条件により多くマッチさせるためには、出来るだけの情報を入力される事をお勧めいたします。

公開・非公開のオプションで、ホームページ訪問者一般に公開するかどうかをコントロールすることが出来ます。

物件の編集：

既に入力した物件情報は、いつでも変更する事が出来ます。「物件一覧」から探すか、「検索」を利用して目的の物件を選択すると、後は物件の追加と同様の画面で物件情報を変更する事が出来ます。

物件の削除：

物件情報を削除します。ただ、一度追加した物件情報は、いつでも公開・非公開を切り替える事が出来ますので、将来的に再び利用する可能性がある場合は削除せずに単に、非公開にしておく事も出来ます。

## ユーザー・会社情報の設定

ユーザー情報は、ユーザーの名前やメールアドレス及び、入力時の初期値（敷金・礼金の単位）を登録します。

この情報はまた、どのユーザーが物件を登録したかの識別に用いられます（とはいっても、インストール時の設定で“`independent_users`”オプションを **On** にしない限り、物件情報は登録したユーザーに属するもの、というわけではなく、他のユーザーが登録した物件も削除したり、変更したりする事が出来ます）。

会社情報は管理ユーザーのみが編集することが出来ます。この情報は、一般向けのページで、物件詳細ページに表示されたり、メールアドレスは、一般のホームページ訪問者からの問い合わせメールの送信先に使われたりします。つまりここで設定したメールアドレスに物件のお問い合わせメールが送信されます。

## システム管理機能

システム管理機能は、管理ユーザーとしてログインした時だけ有効になる機能です。

- ・ ユーザーの一覧・追加・削除  
ユーザーを新規に追加したり、削除したり出来ます。
- ・ インポート・エクスポート  
登録した物件情報を他のアプリケーション（EXCEL や物件管理ソフト）で利用したりデータを移行するためにエクスポート（書き出し）したり他のソフトで書き出したデータから **REPS** にインポート（取り込む）することが出来ます。データ形式は **CSV** です。  
この機能に関しては詳細を後述いたします。
- ・ バックアップ・リストア  
**REPS** に登録した情報のバックアップと、バックアップした情報を戻す機能です。これは、万が一のためのバックアップと、サーバー移行（レンタルサーバーの移行等）で、引越しをする時に利用します。

## 3 一般検索画面の各機能

一般検索画面は、ホームページを訪れる人が、物件の検索、詳細閲覧、問い合わせを行なうページです。

### 3.1 一般検索画面へのアクセス

一般検索画面へのアクセスは、まずは付属のサンプル画面をご覧ください。

もしトップページが <http://www.example.com/> であり、REPS 本体を、app というディレクトリ (<http://www.example.com/app/>) にインストールした場合。

管理画面は、

<http://www.example.com/app/reps.cgi>

サンプルのトップ画面は、

<http://www.example.com/index.html>

にあるはずです。ブラウザでアクセスすると、サンプル画面が表示されるでしょう。

サンプル画面には、賃貸の住居用と事業用、売買の土地、マンション、一戸建て、投資用物件へのリンクがあります。それらをクリックすると、条件検索画面が表示されます。

HTML が分かる方がサンプルの内容を見ると、検索画面へのリンクは下記のような仕組みになっていることが分かるでしょう。

- 賃貸の住居用の検索画面：  
<http://www.example.com/app/search.cgi? type=rl>
- 賃貸の事業用の検索画面：  
<http://www.example.com/app/search.cgi? type=rb>
- 売買の土地の検索画面  
<http://www.example.com/app/search.cgi? type=bl>
- 売買のマンションの検索画面  
<http://www.example.com/app/search.cgi? type=bm>
- 売買の一戸建ての検索画面  
<http://www.example.com/app/search.cgi? type=bh>
- 売買の投資用の検索画面  
<http://www.example.com/app/search.cgi? type=bb>

(※注) サンプル画面のページ ([index.html](http://www.example.com/index.html)) は仮のサンプルなので、もし別の場所に REPS を設置した場合は、リンク先を書き換える必要があります。

## 3.2 一般検索の流れ

ホームページ訪問者は、まず条件を指定して検索、または一覧から物件を探します。賃貸・売買それぞれ条件を指定して検索をする事が出来るようになっています。

次に訪問者は、条件を指定して検索を実行すると、指定した条件にマッチする物件の一覧を見るでしょう。そこで、賃料または住所などで並べ替えを行い、興味のある物件の詳細を表示します。詳細はまとめて複数にチェックを入れて一度に見ることが出来ます。

詳細を確認したあと、訪問者は問い合わせボタンを押すと、その物件に関して問い合わせメールを、REPS 管理画面の会社情報で指定したメールアドレス宛に送信することが出来ます。

以上が一般検索での流れとなります。

### 3.3 検索

賃貸・売買それぞれに条件検索画面があります。ここでは賃料や住所、間取り、築年数など訪問者が希望する条件を指定して、物件を絞り込むことが出来ます。

何も条件を指定しないで実行すると、すべての公開物件が最新の物件から順に一覧が表示されます。

### 3.4 一覧

物件一覧では、並べ替えを行なう事が出来ます。

また、一覧から複数選択して詳細をまとめて表示する機能があります。

### 3.5 詳細表示

物件の詳細表示では、自動でサムネイル化された画像を含む、詳細情報が表示されます。サムネイル画像をクリックすると、大きな画像が表示されます。

印刷をすると、印刷用に最適化されたレイアウトとフォント及び色のページが印刷出来ます。来店時にこの印刷されたページを持参してもらうと、話がスムーズに進みます。

ここでも複数選択して問い合わせに進むことが出来ます。

### 3.6 問い合わせ

問い合わせページは、賃貸と売買でそれぞれ別途用意しています。問い合わせで訪問者が入力した情報は直接、会社情報で設定したメールアドレス宛に送信されます。

## 4 バックアップ・リストア



## 4.1 バックアップとは

バックアップとは、保存されている情報（データ）を、一旦コピーし万が一のために別の場所に保存することを言います。

バックアップをする必要性には、様々なケースがあります。運用を開始したら、出来るだけ定期的にデータのバックアップを取ることをお勧めいたします。バックアップを取ったら、出来るだけ安全な場所に保存してください。

### バックアップの用途

バックアップしたデータは、

レンタルサーバーの引越し（移行）

万が一（ハードディスク破損時等）のデータ復帰

などに利用できます。

### バックアップの方法

REPS 管理画面の管理メニューに、「バックアップ・リストア」という管理ユーザーのみが実行できるメニューがあります。ここで、バックアップを取りたい項目を選択してダウンロードします。

または、dbディレクトリをFTPソフトで丸ごとダウンロードしてバックアップする方法もございます。レンタルサーバーをご利用の場合、こちらの方法をお勧めいたします。

## 4.2 リストアとは

リストアとは、バックアップしたデータを戻すことを言います。リストアすると、データはバックアップした内容に戻されます。その代わり、バックアップした時点よりも後に追加変更した情報は失われます。

### リストアの方法

バックアップしておいたファイルを、FTPでapp/backupに戻します。

REPS 管理画面の管理メニューに、「バックアップ・リストア」という管理ユーザーのみが実行できるメニューがあります。ここで、リストアしたい項目にチェックを入れて、実行します。

最後にapp/backupディレクトリからファイルを削除します。

dbディレクトリをFTPソフトでバックアップした場合は、ダウンロードしたファイルを戻す（アップロードする）だけです。

## 5 インポート・エクスポート

### 5.1 インポートとは

インポートとは、データの取り込みを意味します。例えば、エクセルや不動産物件管理ソフト等から、書き出した CSV 形式のデータを REPS に取り込むことが出来ます。

### 5.2 エクスポートとは

エクスポートとは、データの書き出しを意味します。

REPS に登録したデータを、CSV 形式でエクスポートして、他のアプリケーション（不動産管理ソフトやエクセル等の表計算ソフト）で取り込んでご利用いただけます。

### 5.3 データ定義

CSV 形式は XML 形式と違い、左からの順番で内容が決まってしまうので、REPS では、任意のデータを任意の順番で取り込めるように、定義ファイルを利用するようにしました。

定義ファイルは、app/export に既に用意してあるものを参考にしてください。既にすべての項目名が定義されています。定義ファイル内で利用する、変数名の一覧と説明は、別紙「テンプレート変数一覧」をご覧ください。

まずは、幾つか物件を登録して、それをエクスポートして見ることをお勧めいたします。定義ファイルと見比べて、内容の確認が出来ます。

これらの定義ファイルに記述されている順番と CSV のデータが紐付けされます。

### エクスポートの方法

エクスポートは、REPS 管理画面の管理ユーザーのみに表示される、「エクスポート・インポート」メニューから行ないます。

定義ファイルは、既に `app/export` ディレクトリに存在しているはずですので、項目を選択して、エクスポートを実行できます。

エクスポートする内容を変更したい場合は、定義ファイルを編集します。

賃貸::住居用 定義ファイル	rl.header
賃貸::事業用 定義ファイル	rb.header
売買::土地 定義ファイル	bl.header
売買::マンション 定義ファイル	bm.header
売買::一戸建て 定義ファイル	bh.header
売買::投資用 定義ファイル	bb.header

例えば、`bl.header` ファイルを下記のようにし、

```
LAND_LOCATION
LAND_BIKOU
LAND_YOUTOTIIKI
```

売買：：土地のデータをエクスポートを実行します。

ファイルの中身は、

```
“東京都渋谷区渋谷 1 丁目” , “備考の文章ああ” , “第 2 種住居地域”
“東京都渋谷区初台 3 丁目” , “おおおうう” , “第 1 種 中高層住居専用地域”
....省略
```

のようになっているはずです。

### インポートの方法

インポートも、REPS 管理画面の管理ユーザーのみに表示される、「エクスポート・インポート」メニューから行ないます。

インポートを行なう前に、念のため、`db` ディレクトリをバックアップする事をお勧めいたします。

手順はエクスポートと逆になります。また、定義ファイルを、取り込みたい CSV ファイルとともに `app/import` ディレクトリに用意する必要があります。

取り込みたい CSV を用意し、その中身が下記のような内容と順番だった場合、

“東京都渋谷区渋谷 1 丁目” , “備考の文章ああ” , “第 2 種住居地域”  
“東京都渋谷区初台 3 丁目” , “おおおうう” , “第 1 種 中高層住居専用地域”  
....省略

定義ファイルで、REPS に内容と順番を教えます。（上から下への順番となります） \* ご注意：変数の前後に余分なスペースが無いようにしてください。

LAND\_LOCATION  
LAND\_BIKOU  
LAND\_YOUTOTIIKI

両方のファイルを、app/import ディレクトリに保存し、REPS 管理画面の「エクスポート・インポート」メニューから取り込みます。

\*制限事項：すべてのデータが完全にインポート・エクスポート出来るわけではありません。必ず、作業後に、物件の内容を管理画面でご確認ください。  
また、画像ファイルなどは別途ダウンロードする必要があります。

\*エクスポート・インポートされる内容については、別紙「テンプレート変数一覧」をごらんください。

\*ご注意：マイクロソフト エクセルや、OpenOffice.org Calc などの表計算ソフトで CSV を取り込みや吐き出しを行ないますと、これらのソフトは、「日付らしきデータ」を勝手に、「Feb, 1」などと変換してしまう事が良く知られています。ですので、CSV をこれらのソフトで開くまたは、CSV で保存する際は、日付の列は変換しないように、明示的に指定する必要がありますので、お気をつけください。

日付形式としては、築年や、物件登録日時、物件更新日時などがあります。

## 6 その他の機能

### 6.1 携帯・モバイル機器での閲覧・検索に対応

REPS では、携帯のブラウザや、PDA、スマートフォン、PocketPC 等各種モバイル機器からの、インターネット閲覧に対応し、専用のページを設けています。

#### 携帯・モバイルからのアクセス

もしトップページが <http://www.example.com/> であり、REPS 本体を、app というディレクトリ (<http://www.example.com/app/>) にインストールした場合。

検索画面は、

<http://www.example.com/app/mobile.cgi>

となります。内容的には通常の一般検索画面とほぼ同じですが、携帯機器の画面サイズや機能の制約に合わせたものとなっています。

お好きなページに、上記アドレスをリンクとして追加、または QR コード（二次元バーコード）化して掲載・告知することが出来ます。

### 6.2 Atom (XML) フィードによる更新情報の配信

REPS では、設定ファイルでのオプション（syndicate）を On にする事によって、Atom フィードによる更新情報を配信させる事が出来ます。

#### Atom フィードとは

Atom フィードや RSS フィードは、ウェブサイト（ホームページ）の更新情報やその他様々な情報を配信するために用いられるものです。

これを利用する人は、情報を素早く取得して活用する（ここでは新たに公開された物件をいち早く見つける）事ができるようになります。

2007 年 1 月 30 日に発売された Vista 搭載のパソコンには標準でフィードを購読するソフトが添付されていますので、今後フィードによる情報収集は増えるとされています。

RSS・Atom に関する簡単な説明は下記のホームページをご参照ください。

<http://xml.feeds.jp/>

REPS では Atom フィールドは賃貸住居用と 事業用、そして売買の土地、マンション、一戸建て、投資用物件の 6 種類を自動で生成する事が出来ます。

### 6.3 お薦め物件の表示

お薦め物件をトップページなどに表示したいケースがあると思います。そのような場合、このお薦め物件機能をご利用になれます。お薦め物件を指定すると、自動でお薦め物件を表示する HTML ページが生成されます。

この機能を利用するには、まず設定ファイル (reps-config.cgi) で、

```
recommend_static_filename=test.html
```

などと生成するファイル名を指定する必要があります。ファイルは site\_path で指定された場所に生成されます。

次に、表示したい物件の種類を選択します。これは、お薦め物件を抽出して HTML ページに生成する処理の負荷を軽減する為なので、必要な物件の種類だけ On にしてください。例えば賃貸住居用のお薦め物件を表示させたい場合は、下記のように On にします。

```
recommend_static_rl=On
```

お薦め物件を表示する HTML のテンプレートファイル site\_static\_recommend.tmpl をカスタマイズする事で見た目を自由に変更出来ます。

注：この機能を利用すると、動作の反応が遅くなる場合が御座います。サーバーの処理能力にもよりますが、登録物件数が非常に多い場合、タイムアウトなどが起き易くなる可能性がありますので、ご注意ください。

## 7 一般検索画面のカスタマイズ

既に存在するページのデザインにあわせるため、一般向けのページのデザインをカスタマイズ (変更) する事が出来ます。見た目とアプリケーションを分離し、テンプレート (雛形) として用意しております。実際に表示される時はこのテンプレートより、ページが生成されます。

手順としては、各ページ毎のテンプレートファイルと、CSS ファイルの編集によってカスタマイズを行ないます。

最低限、HTML の知識がありましたらカスタマイズは可能です。XHTML と CSS の知識があれば望ましいです。

## 7.1 テンプレートとは

テンプレートシステムの簡単な例を用いてご説明いたします。

### サンプル 1

例えば、下記のようなテンプレートファイルがあったとします。

```
<html>
  <body>
    <TMPL_VAR NAME="PRICE">円
  </body>
</html>
```

これを、表示すると、テンプレートタグ（太字表示）が、実際の値に置換されて表示されます。この例では、テンプレートの内容はテンプレートタグ 以外は、通常の HTML のタグで記述してあります。ですので、表示すると HTML のページとして表示され、テンプレートタグはアプリケーションから出力される値で動的に差し替えられます。

例えば、上記の例は、実際のページでは、下記のように表示はされます。

5,000 円

### サンプル 2

ちょっと複雑な形式では、下記のような事も出来ます。

```
<html>
  <body>
    <TMPL_IF NAME="COUNT">
      <p>あります。</p>
    <TMPL_ELSE>
      <strong>ありませんでした。</strong>
    </TMPL_IF>
  </body>
```

```
</html>
```

上記の例は、条件によって表示を分岐させています。条件とは、上記例では、**COUNT** という値が空ではなかったらという条件です。

上記の例でもしアプリケーションが **COUNT** の値を 3 として返すと、表示は、  
あります。

となります。

“TMPL”は「テンプレート」の略、英語の “IF”は「もしも」で、“ELSE”は「でなければ」と覚えると簡単です。

### サンプル 3

下記の例では、別のテンプレートファイルを組み込む事も出来ます。**INCLUDE** は「含める」と覚えると簡単です。

例えば、サイドメニュー等、複数のページで共通のものを利用して省力化を図りたい、度重なる変更にも対応し易くしたい、という場合に最適です。

```
<html>
  <body>
    <TMPL_INCLUDE NAME="sample2.tpl">
  </body>
</html>
```

### サンプル 4

下記の例では Loop の紹介です。Loop とは「繰り返し」です。<TMPL\_LOOP NAME='MAIN\_LOOP'>で括られた所は、繰り返しになります。

例えば、下記の場合、

```
<table>
  <TMPL_LOOP NAME='MAIN_LOOP'>
    <tr>
      <td><TMPL_VAR NAME="APART_NAME"></td>
    </tr>
  </TMPL_LOOP>
</table>
```



表示例は、表形式で、

あいうえおアパート マンション ABC XYZ アパート
------------------------------------

のようになります。

検索結果などの一覧のテンプレートでよく使われます。

## HTML::Template

REPS のテンプレートシステムは、Perl のモジュール「HTML::Template」を利用しています。より詳細な情報は、HTML::Template モジュールのページをご参照ください。

「Perl module to use HTML Templates from CGI scripts」

<http://search.cpan.org/dist/HTML-Template/Template.pm>

日本語の情報

<http://perldoc.jp/docs/modules/HTML-Template-2.6/HTML/Template.pod>

## 7.2 カスタマイズ手順

変更するページに応じて、テンプレートファイルを編集します。また CSS ファイルで、様々なスタイルを定義していますので、こちらも変更する事が出来ます。

## 7.3 変更するファイル

### CSS ファイル

トップのディレクトリにある CSS ファイル（スタイルシート）。

site-styles.css

テンプレートファイルからも呼び出していますので、全体を通して、フォントやレイアウト、色などをカスタマイズできます。

print.css

は印刷用の CSS ファイルです。物件詳細ページを印刷する事を想定して最適化されています。

## テンプレート (\*.tmpl)

一般検索画面用のテンプレートファイルは、REPS のアプリケーションディレクトリ (app/) 内の、templates ディレクトリにあります。

ここにあるテンプレートファイルを編集することで見た目をカスタマイズできます。

## テンプレートの編集

テンプレートのカスタマイズは、先に説明した通りのテンプレートシステムを利用しています。編集を行なうのは、基本的には全てテンプレートタグを除く通常の HTML タグと CSS の編集となります。

HTML と CSS を編集することにより、レイアウトの変更、背景色や文字、画像やロゴの追加、メニューの追加などが自由に出来ます。

テンプレートタグはどうしてもという理由がない限り削除したり、変更しないでください。表示させる必要のない項目であれば、コメントタグ (<!-- ~ -->) で非表示にすることをお勧めします。

## テンプレートファイルの命名規則

app/templates ディレクトリにある雛型ファイルには、種類によってファイル名のを区別しています。

ファイル名のアルファベット表記 (略号) と意味の対応については、以下のとおりです。

ファイル名の頭の部分

- |              |                                |
|--------------|--------------------------------|
| <b>pub_</b>  | 一般向け検索ページ関連のテンプレートはこの名前で始まります。 |
| <b>site_</b> | ウェブサイト全般と共通にしたいもの (ヘッダーやメニュー)  |
| <b>mob_</b>  | モバイル系のテンプレートはすべてこの名前で始まります。    |

アルファベット表記

- |           |                      |           |
|-----------|----------------------|-----------|
| <b>rl</b> | <b>rent living</b>   | 賃貸：：住居用   |
| <b>rb</b> | <b>rent business</b> | 賃貸：：事業用   |
| <b>bl</b> | <b>buy land</b>      | 売買：：土地    |
| <b>bm</b> | <b>buy mansion</b>   | 売買：：マンション |
| <b>bh</b> | <b>buy house</b>     | 売買：：一戸建て  |
| <b>bb</b> | <b>buy business</b>  | 売買：：投資用   |

例：

pub\_rb\_search\_result.tpl は、賃貸事業用の検索結果ページ。

pub\_bh\_detail.tpl は、売買一戸建ての物件詳細ページ。

pub\_bl\_Inquiry.tpl は、土地売買の物件詳細問い合わせページ。

## 各テンプレートの簡単な説明

### ■ ヘッダ

site\_header.tpl は、他のテンプレートから読み込まれる、ページのヘッダ部分のテンプレートです。ページ上部のタイトルや、メニューなどを他のテンプレートから使いまわせます。

### ■ フッタ

site\_footer.tpl は、全ページから読み込まれる、ページのフッタ部分のテンプレートです。会社情報や連絡先、他メニューなどを設定できます。

その他のテンプレートの説明は、文末のテンプレートファイル一覧表をごらんください。

## その他 Tips

### ■ 特定の条件に一致した物件一覧ページ（検索条件の保持）

例えば、「1 DK の物件一覧」や、「敷引き無し物件一覧」というリンクを作りたい場合、検索条件を指定して、「指定した条件で検索する」ボタンをクリックすると、検索結果画面が表示されます。このときのブラウザのアドレスバーのアドレスにリンクすることで、検索条件を保持できます。

例：賃貸物件検索画面で検索条件に「ワンルーム・1K」を指定して検索すると、アドレスバーの値をアンカータグ（<a>）などに指定することで、検索条件を指定したリンクを作成できます。

### ■ 一部の検索条件（例えば「動画あり」）を無くしたい場合

検索ページでは、検索条件を減らすことが可能です。テンプレートファイルの HTML を編集し、無くしたい検索条件を含むタグをコメントアウト（<!-- ～ -->）することで、検索条件を表示させなくすることができます。

### ■ RSS・Atom の自動発見

前述した Atom フィードの配信ですが、RSS や Atom フィードを配信しているサイトをユーザーが訪れると、ブラウザが自動でフィードを認識してユーザーが簡単に購読できるような仕組みがあります。



ブラウザに表示されるアイコン。

Atom フィードのファイルは、もしサイトのトップページが

<http://www.example.com/>

のであれば、賃貸住居用の Atom フィードは下記の場所に生成されます。

<http://www.example.com/rl-atom.xml>

このアドレスを、ページのヘッダー部分にリンクとして追加しておくことで自動発見が有効になります。

既定のヘッダーのテンプレートには、既に賃貸と売買それぞれのフィードへのリンクが埋め込まれており、自動発見が有効になっています。もし、売買は利用していない、といった場合、売買のリンクを削除しておくことをお勧めします。

## 8 FAQ

Q. 検索フォームで、住所や最寄駅の指定を選択にする事は可能ですか。

A. はい、テキストボックスではなく、セレクトボックス (**checkbox**, **radio**) を使うなどで可能です。文字列の「含む」検索ですので、**value** に住所を予め埋め込んでおくだけです。

Q. 管理画面のカスタマイズはしても良いのでしょうか。

A. 管理画面のテンプレートはカスタマイズ出来ません。もしした場合、正しく動作しなくなる可能性があります。

Q. 一般向けのテンプレートの著作権表示を変更出来ますか。

A. はい、一般向けのテンプレートはサンプルなので、フッターの著作権表示は変更できます。

Q. 最大登録可能物件数はいくつですか。

A. 基本的には制限はありませんが、運用するサーバーの能力と設定によって制限されます。

月額 263 円のロリポップ (<http://www.lolipop.jp/>) レンタルサーバーでテストした所、賃貸の住居用の物件を 1 万件登録しても動作しました (1 万件の物件を登録する事をお勧めするものでも保証するものでもありませんが...)。開発環境のサーバーでは、それ以上の物件数も問題なく動作はしております。

しかし、非力なサーバーまたは共有サーバーなどで、膨大な物件数がある場合、設定や性能によっては処理のタイムアウト (時間切れ)、またはメモリ制限、**CPI** 負荷による停止、などで、処理の途中で「**Internal Server Error 500**」エラーが発生する可能性があります。

または、画像を登録する際画像のリサイズ等の処理に負荷がかかるため、複数画像をまとめて登録する際に、同様のエラーが起きる場合がございます。この場合は、画像の追加は一枚ずつ行なう事によって対応出来る場合がございます。

バックアップ・リストアも同様に、物件数が沢山ありますと、同様のエラーが発生する場合がございます。インポート・エクスポートでは、自動的に 40 物件ずつに処理を分けて実行している為、**CGI** スクリプトへの連続アクセスが禁止されていない限り、何件でも可能です。

## テンプレートファイル一覧と各ファイルの説明

テンプレート ファイル名	説明
site_header.tpl	ヘッダー部。すべてのページで共通に利用します。
site_footer.tpl	フッター部。すべてのページで共通に利用します。
site_rl_sidebar.tpl	賃貸住居用のページでのサイドメニュー。不要なら利用しなくても可です。
site_rb_sidebar.tpl	賃貸事業用のページでのサイドメニュー。不要なら利用しなくても可です。
site_bl_sidebar.tpl	売買土地のページでのサイドメニュー。不要なら利用しなくても可です。
site_bm_sidebar.tpl	売買マンションのページでのサイドメニュー。不要なら利用しなくても可です。
site_bh_sidebar.tpl	売買一戸建てのページでのサイドメニュー。不要なら利用しなくても可です。
<賃貸住居用>	
pub_rl_search_result.tpl	検索結果一覧
pub_rl_search.tpl	検索フォーム
pub_rl_inquiry.tpl	問い合わせフォーム
pub_rl_detail.tpl	物件詳細
<賃貸事業用>	
pub_rb_search_result.tpl	検索結果一覧
pub_rb_search.tpl	検索フォーム
pub_rb_inquiry.tpl	問い合わせフォーム
pub_rb_detail.tpl	物件詳細
pub_bs_inquiry_buy.tpl	売買（共通）お問い合わせフォーム
pub_bs_inquiry_buy.tpl-simple	上記フォームのシンプル版。利用する場合は、ファイル名の末尾「-simple」を取って差し替えてください。
<売買マンション>	
pub_bm_search_result.tpl	検索結果一覧
pub_bm_search.tpl	検索フォーム
pub_bm_inquiry.tpl	問い合わせフォーム
pub_bm_detail.tpl	物件詳細
<売買土地>	

テンプレート ファイル名	説明
pub_bl_search_result.tpl	検索結果一覧
pub_bl_search.tpl	検索フォーム
pub_bl_Inquiry.tpl	問い合わせフォーム
pub_bl_detail.tpl	物件詳細
<売買一戸建て>	
pub_bh_search_result.tpl	検索結果一覧
pub_bh_search.tpl	検索フォーム
pub_bh_Inquiry.tpl	問い合わせフォーム
pub_bh_detail.tpl	物件詳細
<売買投資用>	
pub_bb_search_result.tpl	検索結果一覧
pub_bb_search.tpl	検索フォーム
pub_bb_Inquiry.tpl	問い合わせフォーム
pub_bb_detail.tpl	物件詳細
<携帯・モバイル>	
mob_rl_search_result.tpl	賃貸住居用検索結果一覧
mob_rl_search.tpl	賃貸住居用検索フォーム
mob_rl_Inquiry.tpl	賃貸住居用問い合わせフォーム
mob_rl_detail.tpl	賃貸住居用物件詳細
mob_rb_search_result.tpl	賃貸事業用検索結果一覧
mob_rb_search.tpl	賃貸事業用検索フォーム
mob_rb_Inquiry.tpl	賃貸事業用問い合わせフォーム
mob_rb_detail.tpl	賃貸事業用物件詳細
mob_menu.tpl	モバイル検索のトップ（メイン）メニュー
mob_header.tpl	ヘッダー
mob_footer.tpl	フッター
mob_bm_search_result.tpl	売買マンション検索結果一覧
mob_bm_search.tpl	売買マンション検索フォーム
mob_bm_Inquiry.tpl	売買マンション問い合わせフォーム
mob_bm_detail.tpl	売買マンション物件詳細
mob_bl_search_result.tpl	売買土地検索結果一覧
mob_bl_search.tpl	売買土地検索フォーム

テンプレート ファイル名	説明
mob_bl_inquiry.tpl	売買土地問い合わせフォーム
mob_bl_detail.tpl	売買土地物件詳細
mob_bh_search_result.tpl	売買一戸建て検索結果一覧
mob_bh_search.tpl	売買一戸建て検索フォーム
mob_bh_inquiry.tpl	売買一戸建て問い合わせフォーム
mob_bh_detail.tpl	売買一戸建て物件詳細
mob_bb_search_result.tpl	売買投資用検索結果一覧
mob_bb_search.tpl	売買投資用検索フォーム
mob_bb_inquiry.tpl	売買投資用問い合わせフォーム
mob_bb_detail.tpl	売買投資用物件詳細
<オプション>	
site_inquiry.tpl	汎用お問い合わせフォーム (site.cgi?_mode=mode_inquiry から呼び出します)
site_static_recommend.tpl	お勧め物件を表示します。設定ファイルで指定した名前の静的 HTML ファイルが生成されます。